

平成28年愛知県クリーニング師試験問題

平成28年11月18日
試験時間 午前10時 ~ 午前11時

◎ 指示があるまでは開いてはいけません。

注 意

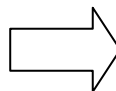
- 1 この試験は、問題用紙と解答用紙が別になっています。**答は必ず解答用紙の答の欄**に書き入れてください。問題用紙に答を記入しても正解になりません。
- 2 問題用紙は1ページから13ページまであります。試験開始後確かめてください。
- 3 解答用紙に受験番号と氏名を書き入れてください。
- 4 各問題とも**答を一つ選んでその番号**を解答用紙の答の欄に書き入れてください。下の解答方法（例）を参考にしてください。
- 5 解答用紙の記入は、**鉛筆**を使ってください。まちがって書いたときは、消しゴムできれいに消してください。
- 6 問題用紙は持ち帰っても結構です。
- 7 試験時間中は、すべて試験官の指示に従ってください。

解答方法（例）

[問題]

1 次のうち、愛知県の県庁所在地はどれか。

- (1) 名古屋市
- (2) 豊田市
- (3) 岡崎市



[解答用紙]

問題	答
1	1
2	
3	

衛生法規に関する知識

- 1 次は、「クリーニング業法」第1条の条文であるが、() にあてはまる語句の組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

「この法律は、(ア) に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もつてその経営を (イ) に適合させるとともに、(ウ) の擁護を図ることを目的とする。」

	ア	イ	ウ
(1)	クリーニング業	公衆の福祉	事業者の利益
(2)	クリーニング師	公共の福祉	利用者の利益
(3)	クリーニング業	公共の福祉	利用者の利益

- 2 次は、「クリーニング業法」第3条で規定する営業者が講じなければならない衛生措置等に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- (1) 洗場については、床を不浸透性材料で築造し、これに適当な勾配と排水口を設けなければならない。
- (2) 脱水機の効用をも有する洗濯機を備える場合でも、別に専用の洗濯機と脱水機をそれぞれ少なくとも一台ずつ備えなければならない。
- (3) 営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗濯物の処理を行い、又は行わせてはならない。

3 次は、「クリーニング業法」で規定する消毒を要する洗濯物（伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物）に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- (1) 手ぬぐいやタオルは、消毒を要する洗濯物に該当する。
- (2) 洗濯が消毒の効果を有する方法でなされない場合は、洗濯した後に消毒しなければならない。
- (3) おむつやパンツは、伝染性の疾病にかかっている者が使用したものでなければ、消毒を要する洗濯物に該当しない。

4 次は、「クリーニング業法」で規定するクリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- (1) 営業者は、そのクリーニング所の業務に従事するすべての者に対し、都道府県知事が指定した当該業務に関する講習を、毎年受けさせなければならない。
- (2) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後1年以内に都道府県知事が指定した研修を受けなければならない。
- (3) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、4年を超えない期間ごとに都道府県知事が指定した研修を受けなければならない。

5 次の、「クリーニング業法」で規定するクリーニング所の開設に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

〔（注） 「地域保健法」に基づく政令で定める市又は特別区については、この問題中の「都道府県知事」は「市長又は区長」と読み替える。〕

- (1) クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者については、届出の必要はない。
- (2) クリーニング所の開設の届出は、必要事項を記載した届出書をあらかじめ開設地を管轄する都道府県知事に提出することによって行う。
- (3) 都道府県知事の検査及び確認を受けた後でなければ、クリーニング所を使用してはならない。

6 次のうち、「クリーニング業法施行規則」第7条で規定するクリーニング師の免許に関する登録事項として**正しいのはいくつあるか**。

ア 本籍

イ 氏名及び生年月日

ウ 住所

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

7 次は、「クリーニング業法」で規定するクリーニング師の免許に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- (1) クリーニング師が免許証を失って、免許を与えた都道府県知事に免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、1か月以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。
- (2) クリーニング師が死亡し、又は失そうの宣告を受けたときは、「戸籍法」に規定する届出義務者は、3か月以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- (3) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に免許を与えた都道府県知事に免許証の訂正の申請をしなければならない。

8 次は、「クリーニング業法」に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

〔 (注) 「地域保健法」に基づく政令で定める市又は特別区については、この問題中の「都道府県知事」は「市長又は区長」と読み替える。 〕

- (1) 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡し業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるときは、期間を定めてその業務を停止することができる。
- (2) 都道府県知事は、クリーニング所の営業者が利用者に対する苦情の申出先の明示を行っていなかった場合、クリーニング所の閉鎖を命じなければならない。
- (3) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

9 次は、テトラクロロエチレンの規制に関する記述であるが、() にあてはまる語句のうち、**正しい**のはどれか。

テトラクロロエチレンは、() に基づく「排水基準を定める省令」で、排水基準が定められている。

- (1) 「毒物及び劇物取締法」
- (2) 「水道法」
- (3) 「水質汚濁防止法」

10 次は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に関する記述であるが、**正しいのはいくつあるか**。

ア クリーニング師であれば、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものと認められる。

イ 1,1,1-トリクロロエタンを含む廃油（環境省令で定める基準に適合しないものに限る。）を排出するクリーニング所には、特別管理産業廃棄物管理責任者を設置しなければならない。

ウ クリーニング所において排出される廃棄物は、すべて特別管理産業廃棄物に該当する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

公衆衛生に関する知識

- 11 次は、「日本国憲法」第25条の条文であるが、() にあてはまる語句の組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

「すべて国民は、健康で(ア)な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての(イ)について、社会福祉、社会保障及び(ウ)の向上及び増進に努めなければならない。」

- | | ア | イ | ウ |
|-----|-----|------|------|
| (1) | 衛生的 | 生活部面 | 環境衛生 |
| (2) | 文化的 | 生活部面 | 公衆衛生 |
| (3) | 文化的 | 政策部面 | 環境衛生 |

- 12 次のうち、人口動態統計(厚生労働省)における、わが国の平成27年の死因順位第1位から第3位までの組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

- | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|-----|-------|-------|-------|
| (1) | 脳血管疾患 | 肺炎 | 悪性新生物 |
| (2) | 心疾患 | 悪性新生物 | 脳血管疾患 |
| (3) | 悪性新生物 | 心疾患 | 肺炎 |

13 次は、感染症に関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- (1) ジカウイルス感染症は、デング熱及びチクングニア熱と同様、蚊を介して感染する。
- (2) ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、患者の糞便や嘔吐物を処理した人の手を介して感染することはない。
- (3) インフルエンザの主な感染経路は、患者の咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染である。

14 次の感染性皮膚疾患とその原因に関する組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 疥癬 _____ ヒゼンダニ
- (2) 頭部白癬（シラクモ） _____ アタマジラミ
- (3) 伝染性膿痂疹（トビヒ） _____ 単純ヘルペスウイルス

15 次の公害病とその主な原因物質の組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 水俣病 _____ 六価クロム
- (2) 四日市ぜん息 _____ PCB（ポリ塩化ビフェニル）
- (3) イタイイタイ病 _____ カドミウム

16 次のうち、「地域保健法」に基づき保健所が行う事業でないのはどれか。

- (1) 国民健康保険に関する事項
- (2) エイズ、結核、性病、伝染病その他の疾病の予防に関する事項
- (3) 母性及び乳幼児並びに老人の保健に関する事項

17 次の記述のうち、誤りはどれか。

- (1) 生活習慣病とは、食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群のことである。
- (2) 妊婦が喫煙した場合には、低出生体重児や早産の危険性が高くなることが懸念される。
- (3) BMI（体格指数）は、一般的にメタボリックシンドロームの判定に用いられている。

18 次のうち、衣類の害虫はどれか。

- (1) ヒメカツオブシムシ
- (2) コクゾウムシ
- (3) ナンキンムシ

19 次の記述のうち、**誤り**はどれか。

- (1) 光化学スモッグが発生すると、目がチカチカしたり、のどが痛くなるなどの症状が現れる場合がある。
- (2) 光化学オキシダントは、窒素酸化物(NO_x)や揮発性有機化合物(VOC)などが太陽の紫外線を受けて化学反応を起こすことにより生成する。
- (3) 平成27年においては、愛知県内で光化学スモッグ注意報又は警報の発令はなかった。

20 次は、わが国の人口動態統計（厚生労働省）に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- (1) 平均寿命とは、その年に死亡した人の年齢の平均値である。
- (2) 人口の自然増減数（出生数から死亡数を減じたもの）は、平成19年から9年連続で減少となっている。
- (3) 平成26年の合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に生む子どもの数）は、約40年ぶりに2を超えた。

洗濯物の処理に関する知識

21 次は、合成繊維に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- (1) ポリエステルは、耐熱性がナイロンよりも優れている。
- (2) ビニロンは、塩化ビニリデンから作られた、世界で最初に発明された合成繊維である。
- (3) アクリルは、手触りが硬く、サラッとしてべとつかない、いわゆるシャリ感があり、最も麻に似た性質を持っている。

22 次は、皮革に関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- (1) 皮革は、染色堅ろう度が強いため、クリーニングによる脱色は起こりにくい。
- (2) 皮革製品の仕上げは、蒸気量を多くし、高温（約100℃）で処理を行う。
- (3) 皮革は、カビが生えやすく、カビが生えると収縮を起こしやすい。

23 次のランドリー用助剤とその効果の組み合わせうち、**正しい**のはどれか。

	ランドリー用助剤	効果
(1)	メタ珪 ^{けい} 酸ナトリウム	アルカリ助剤として洗剤と併用される。汚れの酸性を中和し、硬水を軟化し、洗濯液をアルカリ性に維持する働きがある。
(2)	CMC (カルボキシ・メチル・セルロース)	石油を原料としてつくられた脂溶性高分子物質である。再汚染防止効果が優れ、洗濯物の白さが向上する。
(3)	過炭酸ナトリウム	柔軟剤のひとつである。40℃以上で効果を発揮し、ほとんどの染色物に使用できる。

24 次は、ある繊維加工に関する記述であるが、**該当する**のはどれか。

「織物を凹凸^{おうとつ}のついた過熱ローラーと、紙や綿のローラーの間に通して、凹凸^{おうとつ}の模様を付ける加工」

- (1) シルケット加工 (マーセライズ加工)
- (2) オパール加工
- (3) エンボス加工

25 次は、ボタンに関する記述であるが、**正しい**のはどれか。

- (1) ユリアボタン（尿素樹脂）は、不透明な美しい色をしており、紳士、婦人ものに広く使用されるが、強度は樹脂ボタンの中で最も低い。
- (2) ポリボタン（ポリエステル）は、ワイシャツをはじめ広範囲に使用されているが、衝撃で割れやすいので注意が必要である。
- (3) ナイロンボタン（ポリアミド樹脂）は、強度があり割れにくく耐摩耗性があるうえ、耐熱度が高いため、アイロンを直接当てることができる。

26 次は、毛皮のクリーニングに関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- (1) 毛皮の保管は、温度は10～15℃、湿度は45～50%が適している。
- (2) 毛皮は、水に濡れると収縮するため、ドライクリーニングを行う。
- (3) 毛皮は、熱に弱いので仕上げは裏地にのみアイロンがけを行い、表はブラッシングなどで毛並みを整える。

27 次の繊維素材とその標準的な仕上げ温度（アイロン温度）の組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 毛 _____ 150～160℃
- (2) 綿 _____ 120℃以下
- (3) アクリル _____ 180～200℃

28 次は、ドライクリーニングに関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- (1) 石油系溶剤が残留した衣類の着用により、化学やけど（皮膚障害）が発生することがある。
- (2) チャージシステムは、あらかじめドライ溶剤にドライソープを添加しておいで洗う方法であり、ソープ濃度は5～10%を用いるのが一般的である。
- (3) テトラクロロエチレンによるドライクリーニングでは、顔料樹脂が溶脱することがあるため注意が必要である。

29 次は、シミ抜きに関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- (1) シミ抜きは、油性、水性、不溶性の順に処理を行うのが基本である。
- (2) 水溶性のシミに霧吹きで霧をかけると、生地よりもシミのほうが早く水分を吸収する。
- (3) 化粧品や墨汁による汚れは、水溶性の汚れであるため水に溶ける。

30 次は、クリーニングの仕上げに関する記述であるが、**誤り**はどれか。

- (1) 仕上げの3条件は、湿気、熱及び圧力である。
- (2) 下ごて蒸気は品物をふくらませる効果があり、上ごて蒸気は品物を硬く仕上げることができる。
- (3) ドライ仕上げの最適な蒸気圧は、1.5Mpa(15kgf/cm²)程度である。

